

トルコ共和国農業森林省イスタンブル食品検査試験局
検査分析報告書

報告書番号/改定番号：1901200033/00 報告日：2019年1月14日

サンプルに関する受信文書の日付：2019年1月3日 番号：

A) サンプルに関する情報

分析目的：個人請求一食品

サンプルを送付した法人：〈検査依頼企業名〉

住所：〈検査依頼企業住所〉

サンプル受領記録日&数量：-& 安全印番号：

サンプル 種類：〈具体的な商品名〉

整理番号 - ロット番号： パッケージ：オリジナルパッケージ

分量： 生産年月日：

賞味期限：- 推奨消費期限：

生産者/輸出業者/輸入業者名：

購入日： 場所：

サンプルコード：

サンプル受領日&時間：2019年1月3日 10:55 温度1(°C)：

分析開始日：2019年1月4日 終了日：2019年1月8日

- 1 コールドチェーンにて流通させる必要があるサンプルは冷凍にしなければならない。

B) 分析結果

分析	結果	LOD 検出 限界 /LOQ 測 定限界	Ö.B.(±)測 定不 確定	G.K. (%) 回収	機器	分析方法	D.Limit 評価限界	D.評価済	D.評 価
*GDO スクリーニング									
*p355	不検出	コピー	10/-		リアル タイム PCR	オペレーション内 メソッド (IGKLM.AT.10.02),IS O24276,ISO21569,E UR24526EN		バイオセキ ュリティ規 定、適用指 示	適 合
pFMV	不検出	コピー	10/-			オペレーション内 メソッド (IGKLM.AT.10.02),IS O24276,ISO21569,E UR24526EN		バイオセキ ュリティ規 定、適用指 示	適 合

(原本は電子署名入り)

本報告書は広告目的に使用できず、カバーレターと共にすることで有効となる。

試験所として営業しているイスタンブル食品検査試験局は、TÜRKAK(トルコ認可庁)より AB-0026-T 番のファイルと TS EN ISO/IEC17025 号の規格に基づき認定されている。トルコ認可庁(TÜRKAK)は試験結果の認知について、欧州認可連合(EA)と、多国間協定及び国際試験所認定協力機構(ILAC)と、相互認定協定を結んでいる。

検査分析報告書

報告書番号/改定番号：1902300033/00

報告日：2019年1月14日

サンプルに関する受信文書の日付：2019年1月14日

番号：

分析	結果		LOD 検出限界/LOQ 測定限界	Ö.B.(±)測定不確か	G.K.(%)回収	機器	分析方法	D.Limit 評価限界	D.評価済	D.評価
tNOS*	不検出	コピー	10/-			リアルタイムPCR	オペレーション内メソッド (IGKLM.AT.10.02),ISO24276,ISO21569,EUR24526EN		バイオセキユリティ規定、適用指示	適合
Bar*	不検出	コピー	10/-			リアルタイムPCR	オペレーション内メソッド (IGKLM.AT.10.02),ISO24276,ISO21569,EUR24526EN		バイオセキユリティ規定、適用指示	適合
植物特定大豆遺伝子*	検出	コピー	10/-			リアルタイムPCR	EURL メソッド(QT-TAX-GM-002),ISO21569, ISO 24276		バイオセキユリティ規定、適用指示	適合
植物特定トウモロコシ遺伝子*	検出	コピー	10/-			リアルタイムPCR	EURL メソッド(QT-TAX-GM-002),ISO21569,ISO24276		バイオセキユリティ規定、適用指示	適合
植物特定綿遺伝子*	不検出	コピー	10/-			リアルタイムPCR PCREURL	EURL メソッド(QT-TAX-GH-015),ISO21569,ISO24276		バイオセキユリティ規定、適用指示	適合

*認定範囲における。

分析結果は上記のサンプルおよびサンプルが「受領された状態」について有効であり、行われた検査および分析の結果、上記の値が検出された。

C)略語類

UD:不適合、U:適合、D:評価された、DY:評価されなかった、R.G.:官報、TGK:トルコ食品コーデックス、Ö.B.:測定不明、G.K.:回収、LOD:検出限界、LOQ:測定限界

D)備考（分析方法/複数の分析方法）

DNA 抽出方法：このサンプルの DNA 抽出は、ロシュ社 MagNA Pure96 と Viral NA Small Volume Kit の手順、ISO21571 に基づいて行われた。

E)評価

(原本は電子署名入り)

(以下前頁と同様)

F)注意

1. 本分析報告書のいかなる部分もそれだけで、あるいは別々に使用することはできない。
2. 分析結果は上記に記載のサンプルに対して有効である。
3. 必要な場合「測定不確定(Ö.B)および「回収(G.K.)」の割合は分析結果とともに出される。
4. 本報告書は試験所の文書による許可を得ずに、全体あるいは一部をコピーして使用することはできない。
5. 本報告書は、個人請求の分析において「司法および行政手続きおよび広告目的」で使用することはできない。
6. 測定不確定とはサンプル受領を含まず、95%の信頼区間において値 $k=2$ が使われた。
7. カバーレターのない、カバーレターに署名のない報告書は無効である。

分子生物学試験部署責任者名

サンプル受領、報告書作成部署責任者名

承認済

局長名

(原本は電子署名入り)

職員名 (署名)

(以下前頁と同様)